



緑豊かな

誰ひとり取り残さない
安心して暮らせる新宿を
つくりたい

新宿区議予定候補

田中のりひで元区議
の後継者

杉山直子

すぎ やま なお こ

日本共産党 新宿地区環境・
くらし相談室長

明るい新宿 2023年春号外
発行●明るい新宿社 新宿区北新宿1-30-26 篠崎修之

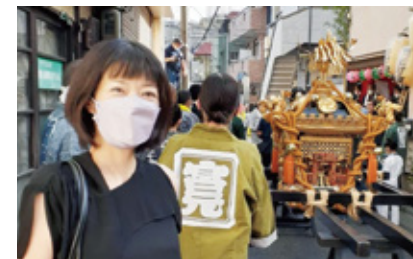
日本共産党・杉山直子さんの活動を紹介します。

お困りごとのご相談は 杉山直子 検索
080-5467-8774 まで(☒ショートメール可)

杉山直子プロフィール



着物のブログを書いていた頃
Photo:Namiko Futaki



上落合の町会祭で

●1975年生まれ、八王子市出身。47歳。2005年より新宿区に住む。現在、下落合で事実婚のパートナーと2人暮らし。●一橋大学法学部卒(国際私法専攻)。●一橋大学大学院在学中に、和服の決まりごとに縛られずに着物を自由に着る趣味のブログが出版社の目にとまり、「河村一子」のペンネームで『はじめての私の着物』(河出書房新社)を出版。大学院を中退し、着物やハンドメイドなどのテーマで寄稿するフリーライターに。●生活のために、派遣社員として経理事務の仕事も。倒産やブラック企業も経験。●自然と共生するエコな地域社会をめざして取り組んできた。●戦争法反対の国会デモに参加したことをきっかけに、2017年に日本共産党入党。●趣味は、日曜大工、ヘヴィメタルのライブ鑑賞。「聴くと気合いが入ります」。



故・田中のりひで元区議の後継者、杉山直子さんをなんとしても区政へ

亡くなった田中のりひで元区議は、下落合駅前の特養ホーム建設、学童クラブ増設、JRと西武の高田馬場駅にホームドア設置などを実現するとともに、身近な相談相手として頼りにされてきました。この地域に日本共産党の議席がどうしても必要です。後継者の杉山直子さんは、必ずみなさんの力になれる人です。なんとしても区政に押し上げてください。

都議会議員 大山とも子

百人町、中落合1~3丁目のみなさんの願いは、
今度は、杉山直子さんに託してください。

区議会議員 高月まな
区議会議員 藤原たけき

■杉山直子の活動地域 上落合1~2丁目、下落合1~4丁目、高田馬場2~4丁目、中落合1~3丁目、百人町1~4丁目

暮らしにくさ、生きにくさ、身近なところから解決したい



こんにちは。杉山直子です。新宿に住んで17年。現在、下落合に住んでいます。亡くなった田中のりひで区議の後継者として、区政に挑戦します。就職氷河期世代の私は、派遣労働と正社員をくり返し、9社以上の職場を経験しました。ある日突然に社会的弱者になることがあると身にしみています。誰一人取り残さない、安心して暮らせる新宿をつくりたい、暮らしにくさ、生きにくさを身近なところから解決したい、と取り組んでいます。どうぞよろしくお願いいたします。

西武線「開かずの踏切」解消へ全力

「開かずの踏切」の解消は、地域のみなさんの長年の願いです。亡くなった田中のりひで区議は、下落合駅南口改札の実現などに力を尽くしてきました。

私は、地域のみなさんと一緒に、下落合駅の踏切でアンケート調査をおこない、西武鉄道本社と新宿区に、●線路の高架化または地下化による踏切の解消、●実現するまでの間、エレベーター付きの自

転車も渡れる歩道橋の設置、●児童・生徒が下落合駅構内を通行できるようにする、などの改善策を要望してきました。また、●下落合駅と中井駅の早急なホームドアの設置も強く要求しています。早期に実現するよう、全力でがんばります。



下落合駅の開かずの踏切



西武鉄道本社に要請

重たいランドセルと両手の荷物、何分も遮断機にもたれユラユラ。警報機が鳴りやむと同時に人や自転車と車のかけっこの始まり。何分も待つのが嫌で、家でタブレットで学習する子。遮断機に分断されない朝が早く来ますように。「子どもたちが踏切を渡れなくて遅刻しそうになる。子どもたちだけでも駅の構内を通れないだろうか」と杉山さんに相談しました。

下落合駅の近くに住むSさん

「民営化でたいへん！」

自転車駐輪場を安く、使いやすく



民営化された高田馬場駅近くの駐輪場。ラック幅が狭くて大変

区は、住民への説明もおこなわずに、区営自転車駐輪場を民営化してしまいました。このため、たとえば落合駅の路上駐輪場は定期利用がなくなり、以前は年6800円で利用できたのに、同じ時間使うと年5万円以上かかることになってしまいました。ラック幅が狭くて、ハンドルや子ども用いすがひっかかり、自転車を出し入れすることが非常に難しいという問題も起きています。「これでは無断駐輪が増えて、逆行ではないか」など不満が広がっています。

●駐輪場の増設、●利用料金の引き下げ、●定期利用の拡大、●ラック幅を広げるため

高齢者が安心して暮らせるまちに

2021年、区は中落合にある「高齢者いこいの家清風園」を廃止しました。お風呂に入り、飲食ができ、囲碁やカラオケを楽しむ、一日ゆっくり過ごせる、まさに憩いの家でした。区全域から利用者が訪れる人気の施設を、住民・利用者の反対を押し切り、廃止を強行したことは、今でも許せません。

介護や支援が必要になった方からの相談が増えています。家族介護が中心のため、介護離職やヤングケアラーが問題になっています。年をとってもひとりでも安心して暮らせるよう、高齢者の居場所づくり、介護サービスの充実のためにがんばります。

すぐに助けにきてくれた杉山さん

耳が聞こえない、でも障害者手帳を持ってない私に、福祉事務所の担当者は、筆談をあまりしてくれず、緊急の用事に間に合わないかと、パニックになっていました。杉山直子さんに助けを求めました。会議を抜け出し10分で駆けつけてくれ、重要案件も無事解決しました。どんな時も弱者の味方、感謝しています。

長谷川栄子さん(落合地域在住)

アトピーだった私

自然と共生する

エコな地域社会をつくりたい



私は、自然豊かな八王子で育ちました。小学校の頃の遊びは、木登りと山の探検でした。しかし、子どもの時のアトピー性皮膚炎が治ってからも薬に頼る生活を続けていたところ、20代の時に薬が効かなくなり、ひどい皮膚炎に。そこで、「生き物にとって人工的なものばかりではよくない」と考え、人間が自然と共生するエコな地域社会をめざしてきました。

新宿の緑を守り、増やします

17年前、当時通っていた病院の近くの下落合に住みました。病状への不安に押しつぶされそうだった時、おとめ山公園、野鳥の森公園、薬王院のあふれる緑を見て、前向きな気持ちになりました。

緑を増やせば、生態系が豊かになり、二酸化炭素を吸収するので気候変動の緩和にも貢献します。しかし、新宿区の樹木は減っています。なかでも一番減っているのが、落合第一地域です。区は、中落合の清風園を廃止して、樹木を伐採しました。また、神宮外苑の約千本の樹木を伐採移植する再開発計画に異を唱えようとしません。

私は、大都会新宿だからこそ、かけがえのない緑を守り、増やすために全力でがんばります。



区は、清風園を廃止して、樹木を伐採しました

●新宿の緑被地面積を計画的に増やします

●神宮外苑の樹木の伐採は中止を

●新宿区でも気候市民会議を

「ごみを減らしたら」区民のやる気を応援する区政に



地域のゴミ拾いデーに参加しています

地球環境を守るために、ごみ自体を

出さない生活スタイル「ゼロウェイスト」をご存じですか？洋服は古着、包装した商品はなるべく買わない、生ごみは堆肥に。私も取り組んでいます。

東京では、たとえば日野市が、市民が家庭のコンポストでつくった堆肥を回収して市の花壇の花を育てたりしています。私はこれまでも、生ごみの堆肥化などへの支援を新宿区に提案してきました。区民のやる気を後押しする施策を実現させたいと思います。

ゴミの拾い方に人柄がでている杉山さん

30坪に満たない隣地に4階建てのワンルームマンションが建つと知り、ビックリ。共産党に相談したところ、杉山直子さんが相手側との交渉に常に同席してくれました。そんななか、地元で活動しているゴミ拾いを案内したところ、すぐに「参加します」との返事。1cm余りのゴミも逃さないぞとばかりの誠実な拾いっぷりには、会員一同敬服しています。何事にも人柄は出るものですね。

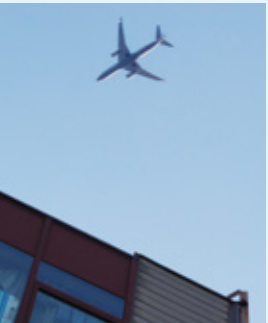
新宿環境リサイクルの会 10さん

平穏な住環境を守ろう

羽田新飛行ルートの中止を！

羽田新飛行ルートの実施により、落合、百人町、高田馬場周辺では、激しい騒音、落下物への不安など、平穏な住環境が脅かされています。

区議会に、多くの住民や区内の町会長の過半数が署名した陳情が提出され、「海上ルートの活用等羽田『新ルート』が固定化されることのないよう国に求める意見書」が採択されました(2022年6月)。



小滝橋上空、ビルの上を飛ば

羽田新飛行ルートを中心させるため、地域のみなさんと力を合わせて取り組みます。

新宿区の貯金(基金残高)は**656億円**

今こそ区民の暮らしを守るために

- 国民健康保険料の引き下げ
- 学校給食の無償化
- 学童クラブを増設し、定員オーバーを解消
- 坂の多い落合中心にコミュニティバスを導入
- 大久保駅南口にエレベーター・エスカレーター設置
- 新大久保駅周辺の路上ポイ捨ての解決
- 新型コロナ…区独自の検査充実、医療難民を生まない取り組み



新宿区は統一協会関係団体の「後援」取り消しを。自民党は統一協会との癒着を断ち切るべきです。

ジェンダー平等の新宿に



生徒会でもアルバイトでも、リーダーはなぜいつも男子？昔は自分の能力の問題かとも思いましたが、本当は女性がリーダーになるための訓練の場からいつも構造的に締め出されてきたからなのではないでしょうか。

私には長く一緒に暮らすパートナーがいまですが、事実婚の形をとっています。法律婚で自分の姓を変えたくないし、相手の姓も変えさせたくないからです。しかし、事実婚であるがために社会的にカップルと認知されないのは不利益がありますし、同性カップルの方々はさらに苦労されていることでしょう。

新宿区で、同性異性どちらも対象とする「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」をつくります。

政治に無関心だった私



2015年夏、私は激怒していました。安全保障関連法案(安保法制)が衆議院に提出されたのです。

小学校低学年の頃、同級生の家にあつた『はだしのゲン』を読ませてもらい、原爆の恐ろしき、戦中・戦後の生活の悲惨さに大きなショックを受けました。そういう大変な犠牲を払ったうえでの平和をたった70年しか維持できず、性懲りもなく日本を再び戦争ができる国にしようとしている。政治に無関心だった私が、居ても立つてもいられず、国会前のデモに足繁く通うようになりました。

■反戦平和を貫いてきた日本共産党の党員に

安保法制は可決されましたが、日本共産党は即日、「市民と野党の共闘で、安保法制を廃止する政府をつくらう」とよびかけました。市民の願いをこんなにも素早く実行に移してくれる政党は是が非でも応援しなくては！そう思って日本共産党の新聞「赤旗」を読み始め、2017年に党員になりました。

私にとって、平和な日本と世界、そして憲法9条は絶対に譲れないものです。自民党・公明党政権がすすめる敵基地攻撃能力や大軍拡を許すわけにはいきません。

党をつくって100年、戦前から反戦平和を貫いてきた日本共産党の党員として、がんばりぬきたいと思います。



軍事費2倍化ストップ! 憲法いかし平和外交を。
ウクライナに平和を!

田中のりひでさんのように受け止める力がある杉山さん

就職氷河期の経験者で、地球規模から身近な環境問題にも取組む頼もしい杉山さん。受け止める力とお茶目な雰囲気は、地域で長く親しまれた田中のりひでさんと同じだと思いました。子どもたちの育つ地域が多様で優しい場であるよう、区政に声を届けて下さい。



下落合・学童クラブ父母会OG 岡本眞理代さん

区民のより良い暮らしの力になれる人

古き善き物を尊重しつつ、好奇心を持って新しい手法を取り入れ、わかりやすく伝えていく。そんな風に現代になじむ着物生活を実践・発信していた直子さん。そういった素質が、議員として古い仕組や問題を解決し区民のより良い暮らしを推進する力になると期待しています。

新宿区で働く着物仲間 山中琴さん

納得いかない物事にとことん食い下がる直ちゃん

知らない人からよく道を聞かれています。話しかけやすいのかなあ。でも、性根はロック魂。納得いかない物事には、とことん食い下がります。エコロジーを実践していくことに熱心で、新しいことを試すのが大好きです。

今度は、区政という新しいことに挑戦。無理をしないか心配ですが、甘味のおやつを作って応援します。

パートナー 鳥居友之さん